

交通環境の違いに着目した民間無料送迎サービスの利用実態に関する研究

～和歌山市紀伊駅周辺における松源お買い物バスを事例として～ 60154018 小池 良也
都市計画 バス交通 交通弱者 アンケート 無料送迎サービス

1.はじめに

1.1 研究の背景と目的

日本の総人口は、2010年の国勢調査の結果によると128,057,352人（2010年10月1日時点の確定値）であり、前回調査（2005年）と比べ289,358人増加している。

日本人の数（2010年10月1日時点の確定値）は125,358,854人で、前回調査（2005年）に比べ37万人（0.3%）減少した。

都道府県別の高齢化率では、東京、大阪、愛知を中心とした3大都市圏で低く、その他の地方都市で高くなっている。今後、高齢化率はすべての都道府県で上昇することが見込まれている。

高齢化に伴い、マイカーの非利用者も増える。地方都市は大都市に比較して、公共交通手段が少なく、マイカーに依存する傾向の強い地方都市において市街地の空洞化など深刻な課題となっている。

公共交通は、モータリゼーション化のすすんだ現在においても、マイカーを運転することが困難な人々にとって移動手段を確保し、生活を維持する上でなくてはならないものであり、その存在意義は大きい。乗り合いバスは2002年の規制緩和が実施されたが、新規参入事例はわずかであり、特に郊外や過疎地域での路線は危機的状況になり、交通弱者にとってますます移動の権利が損なわれている状態となっている。こうした路線撤退に対する代替策としてコミュニティバス事業が全国的に増加している。しかしながら、赤字路線の代替策としての導入が多くを占めるため、行政への負担が大きく、事業計画の見直しの検討を行う事例も多い。

平成18年4月、富山市において「わが国初の本格的なLRT（Light Rail Transit）」とされる富山ライトレールが開業し、地方都市における公共交通の利用を大きく伸ばしている。しかし、富山ではもともとあった路面電の路線を利用してライトレールを運行しており、コミュニティバスでは行政の負担が大きく、他の地方都市で導入が厳しくなっている。

そこで、本研究では和歌山県和歌山市紀伊駅周辺で運行されている民間の無料送迎バスである松源お

買い物バスを事例として利用実態を明らかにし、公共交通としての利用の可能性を明らかにする。

1.2 無料送迎バスの法律上の位置づけ

バスに旅客を乗せて運行する場合、旅客自動車運送事業に位置付けられる。

旅客自動車運送事業は、「輸送する対象者」によって次の2つの事業に区分される。

・誰でも乗せる場合

→ 一般旅客自動車運送事業

・特定の範囲の人を乗せる場合

→ 特定旅客自動車運送事業

無料送迎バスである松源お買い物バスはこの特定旅客自動車運送事業に該当する。

1.3 研究の方法

民間で無料運送サービスである松源お買い物バスを運営する株式会社松源へのヒアリング調査、松源お買い物バスの運行ルートである紀伊ルート上にアンケート調査を行い分析した。

2.松源お買い物バスについて

2.1 導入の背景

スーパー松源の旧店舗（川永店）から大型店舗（和歌山センター店）へ集約する際、地元住民の要望に応え、運行をスタートさせた。他の店舗ではやっておらず、和歌山センター店のみで運行おり、運行は有田鉄道株式会社へ運行を委託している。

マイクロバスで運行しており、今回調査した紀伊ルートでは1日2便運行している。ルートは旧店舗があった地区をカバーするように決定されている。

主な目的は買い物の足の確保で、川永・井辺ルート・紀伊ルート・六十谷ルート・井辺～鳴神ルート・鳴滝ルートの5ルートを設定している。

2.2 利用の実態

ヒアリング調査によると松源お買い物バスの乗客は1便につき15人程度であり、利用者数が少ないことが分かった。また、松源お買い物バスの運行開始時に地域住民の声や需要が反映されていないことが明らかとなり利用人数増加のための運行に改善の余地があることが分かった。

3. 運行地域の実態

3.1.1 アンケート概要

表1 アンケートの回収状況

対象地域	配布日時	回答数	配布軒数	回収率
紀伊団地	2013年10月28日	134	353	37.96%
鴨井川団地	2013年10月29日	128	270	47.41%
紀伊駅周辺地域	2013年10月30日	202	602	33.55%
合計		463	1225	37.80%

アンケートの章構成は、以下のように設定した。

1.回答者の属性

- 1.回答者の属性
- 2.松源お買い物バスを知っているか
- 3.日常使用する交通手段
- 4.松源お買い物バスの利用頻度、利用目的、民間のバスに対する意見
- 5.お住まいの地域の交通手段の満足度(道路、電車、路線バス、松源お買い物バス)

3.1.2 対象地域



図1 対象地域

対象地域は和歌山県和歌山市紀伊の紀伊団地、鴨井川団地、紀伊駅周辺地域とした。

この地域は交通環境の違う3つのエリアがある。

また高齢化が進んでいる郊外であり、松源和歌山北インター店による松源お買い物バスのルートが通っており、環境の違いによる日常の交通手段、無料送迎サービスの現状を明らかにできるため選定した。

3.2 地域の交通環境の評価

3地域で交通環境による満足度を評価した。

評価項目は大きく分けて1.近隣道路について2.電車について3.和歌山バスについて4.松源お買い物バスについての4項目である。

近隣道路についてでは、紀伊駅周辺の満足度が低い値を示した。これは県道7号線の道路の整備が不十分なためと考えられる。電車については紀伊駅周辺で満足度が高くなっている。これは物的に駅までの距離が最も近いためと考えられる。和歌山バスについては紀伊団地の満足度が非常に低い結果になっ

た。松源お買い物バスについては紀伊駅周辺地域が低い値を示した。交通手段の満足度は、松源お買い物バスの満足度が高くなっている、潜在的な需要は高いことが分かった。

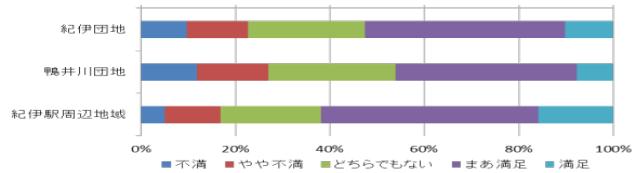


図2 近隣道路についての総合評価

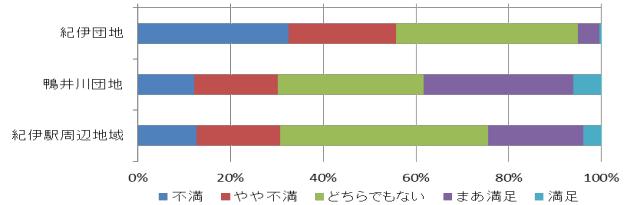


図3 電車についての総合評価

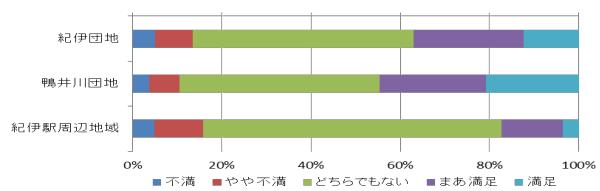


図4 和歌山バスについての総合評価

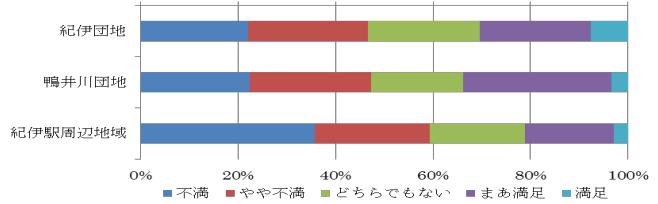


図5 松源お買い物バスの総合評価

4.まとめ

松源お買い物バスの評価はバスの本数でやや不満になったものの、全体ではおおむね満足となった。

松源お買い物バスの認知度は99%と非常に高いが、運行開始時に需要予測がされていないことで需要と運行がかみ合わず、利用者の増加につながっていないことが分かった。運行の改善点としては周知活動を行うことが必要である。具体的には乗降場所と時刻表を掲示板などで告知することで利用人数の増加を図り、松源お買い物バスの本数を増やすことでさらに評価を高めることができると考えられる。

参考文献 1) 松源ホームページ <http://www.matugen.co.jp>

2) グーグルマップ <https://maps.google.co.jp/>